

平成 30 年 8 月吉日

施設長、看護責任者様各位

大阪赤十字病院

院長 坂田 隆造

副院長兼患者総合支援センター長 今田 和典

看護部長 黒岡多佳子

第 26 回大阪赤十字病院看護フォーラム

拝啓 避暑の候、皆様方には、ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、平素は当院の地域連携にご協力頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、この度第 26 回大阪赤十字病院看護フォーラムを開催するにあたり、ご案内申し上げます。

昨今、高血圧、糖尿病、高脂血症といった生活習慣病の増加にともない、狭心症、心筋梗塞、脳卒中に加えて足の血管の病気である閉塞性動脈硬化症が増加しております。足病変の重症化で、下肢切断となる人は年間 1 万人以上といわれております。

当院でも循環器医師、皮膚科医師、形成外科医師、皮膚排泄ケア認定看護師がチームをつくり治療にあたっております。

しかし、重症化に至らない様に、正しい知識を持ち日頃からケアをしていれば、大切断を予防することができます。

そこで、今回の看護フォーラムでは、テーマを「足病変はなぜ怖い？ ～足病変とフットケア～」として、当院の循環器医師、皮膚排泄ケア認定看護師、慢性疾患看護専門看護師、義肢装具士による講義を企画しました。

また、今回の看護フォーラムは「大阪府訪問看護実践研修事業」の一つで、教育ステーション（訪問看護ステーション友楽園）との共催となります。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

